

第108回(2022年3月度その2) 監査技術ゼミ 結果報告

運営委員長 菊谷 純
(文責: 松下 洋二)

1. 開催日時 2022年3月30日(金) 午後2時00分～午後4時40分
2. 開催方法・場所 ZOOMを利用したオンライン会議方式
講師は職場より解説
司会(委員長)は自宅より進行
委員は自宅または職場にて参加およびオンライン会議のサポート
3. テーマ 「企業集団内部統制に関する監査役職務確認書(2022年版)」の解説
4. 講師 企業集団内部統制監査確認書委員会委員長 浅見 公一氏
5. 出席者 30名
6. 配布資料 (事前に参加予定者にメールで送付)
 - ① 「企業集団内部統制に関する監査役職務確認書」の改訂(第8回)について 一般社団法人監査懇話会
 - ② 企業集団内部統制に関する監査役職務確認書 会社法編(2022年3月改訂版) 一般社団法人監査懇話会
 - ③ 企業集団内部統制に関する監査役職務確認書 金融商品取引法編(2022年3月改訂版) 一般社団法人監査懇話会
 - ④ 企業集団内部統制に関する監査役職務確認書2022年(第8回改訂)版:新旧対照表
7. 議事次第
 - 1) 運営委員長より開会の挨拶
菊谷運営委員長よりオンライン参加者のZOOM接続状況を確認したのち、開会挨拶と本日のテーマ紹介を行い、講師の浅見公一氏を紹介された。
なお出席者の内、旧独立委員会セミナーも含めて当ゼミへの初参加者はなし。
 - 2) 講義
午後2時2分より2時57分まで、冒頭に講師の自己紹介および委員紹介を行った後、資料①に従い「企業集団内部統制に関する監査役職務確認書会社法編」の改訂内容について解説がなされた。そして、10分間の休憩をはさみ3時45分まで、引き続き資料①の解説がなされ、その後、同確認書金商法編の改訂内容について解説がなされた。
 - 3) 質疑応答および意見交換等
講義の後、5分間のチャット記入時間を設け、午後3時50分から出席会員会友と質疑応答が行われた。
質疑の要旨は以下の通り。
 - ・親会社の内部監査が適切に行われていない場合、子会社監査役としてはどうしたらよいか。監査役は会計監査人の選任権限はあるが内部監査員の選任権限はないので歯止めが利かない
 - ・J-SOXに対する監査役のより積極的な関与、および企業グループ内での品質不正問題の対応について委員会の議論はどうだったか。
 - ・監査役職務確認書と構成やスタイルを揃える必要性
 - ・社外監査役に監査役職務確認書および企業集団内部統制に関する監査役職務確認書

の活用を求めべきか
なお、質疑応答の途中で、各委員から改訂作業にあたっての感想および本確認書の望ましい活用方法について紹介があった

4) 委員長より閉会の挨拶

質疑応答の後、菊谷運営委員長が講師に感謝の意を表されるとともに、参加者に対しアンケートへの協力要請を行う（後日メールで発信）とともに、次回の監査技術ゼミは4月5日に開催予定の旨案内した後、閉会となった。

以上